

福祉委員会

開催日	令和2年9月8日
時間	午前9時30分～午後0時 5分
場所	委員会室
出席議員	白井 章、富田 雄二、岸本 洋美、野々部 享 小崎 進一、松川 秀康、松岡 繁知
欠席議員	なし
出席理事者	永田市長 葛谷副市長 宮崎企画部長 後藤企画部次長兼企画政策課長 舟橋人事秘書課長 平子総務部長 岩田総務部次長兼財政課長 三輪収納課長 栗本市民環境部長 石田市民環境部次長兼産業課長 伊藤市民課長 藏城市民課課長補佐 篠田保険年金課長 岡田保険年金課係長 鈴木保険年金課係長 島津生活環境課長 所生活環境課課長補佐 清水生活環境課課長補佐 石塚産業課課長補佐 川村産業課課長補佐 梶浦産業課課長補佐 北神西枇杷島サービスセンター所長 葛山清洲市民サービスセンター所長 日比野春日市民サービスセンター所長 河口健康福祉部長 加藤健康福祉部次長兼子育て支援課長 鹿島社会福祉課長 岡田社会福祉課課長補佐 鈴木社会福祉課課長補佐 古川高齢福祉課長 幸村高齢福祉課課長補佐 石田高齢福祉課係長 犬飼子育て支援課課長補佐 寺社下健康推進課長 高木健康推進課課長補佐 坂下健康推進課課長補佐
関係職員	浅田議会事務局長 高山議事調査課課長 鈴木議事調査課係長
議案または協議事項	1. 福祉委員会付託案件
備考	傍聴者 なし

(時に午前 9時30分 開会)

福祉委員会委員長 (白井 章君)

皆さん、おはようございます。

定刻となりましたので、ただいまから福祉委員会を再開いたします。

傍聴者はお見えですか。

議事調査課係長 (鈴木 栄治君)

一般傍聴人の方はおみえになりません。

福祉委員会委員長 (白井 章君)

今日は、健康福祉部の各所管について審議させていただきます。

それでは、最初に、認定第1号 令和元年度清須市一般会計決算認定について、所管ごとに歳入歳出続けて説明をお願いします。

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長 (加藤 久喜君)

子育て支援課の加藤でございます。よろしくお願いいたします。

令和元年度清須市歳入歳出決算書をお願いいたします。

一般会計の歳入のうち健康福祉部所管分につきまして、私のほうから一括で朗読説明をさせていただきます。

最初に、18、19ページをお願いいたします。

12款分担金及び負担金、1項負担金、1目民生費負担金、予算現額2億8千450万6千円、収入済額2億4千801万7千967円、不納欠損額59万3千960円、収入未済額540万8千50円、1節社会福祉費負担金と2節児童福祉費負担金でございます。

2目衛生費負担金、予算現額4億2千742万3千円、収入済額2億2千249万9千621円、収入未済額2億208万1千円、1節保健衛生費負担金のうち備考欄1行目、未熟児養育費負担金でございます。

13款使用料及び手数料、1項使用料、2目民生使用料、予算現額1千770万9千円、収入済額751万7千550円、1節社会福祉使用料と児童福祉使用料でございます。

はねていただきまして、20、21ページをお願いいたします。

2項手数料、1目衛生手数料、予算現額1億5千482万3千円、収入済額1億5千238万9千240円、1節保健衛生手数料のうち備考欄2行目、犬登録手数料と3行目、狂犬病予防注

射済票交付手数料でございます。

はねていただきまして、22、23ページをお願いいたします。

14款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金、予算現額24億8千742万5千円、収入済額24億1千732万5千527円、1節社会福祉費負担金から3節生活保護費負担金まででございます。

2目衛生費国庫負担金、予算現額243万4千円、収入済額112万3千945円、1節保健衛生費負担金でございます。

2項国庫補助金、2目民生費国庫補助金、予算現額3億2千955万3千円、収入済額3億382万710円、1節社会福祉費補助金から3節生活保護費補助金まででございます。

はねていただきまして、24、25ページをお願いいたします。

3目衛生費国庫補助金、予算現額1千358万1千円、収入済額1千159万8千円、1節保健衛生費補助金でございます。

3項国庫委託金、はねていただきまして、26、27ページをお願いいたします。2目民生費委託金、予算現額1千377万4千円、収入済額1千123万6千495円、2節児童福祉費委託金でございます。

15款県支出金、1項県負担金、1目民生費県負担金、予算現額8億5千337万8千円、収入済額8億3千583万3千935円、1節社会福祉費負担金のうち備考欄3行目、障害者自立支援給付費負担金から一番下の過年度障害者医療費負担金までと2節児童福祉費負担金及び3節生活保護費負担金でございます。

2目衛生費県負担金、予算現額121万7千円、収入済額56万1千972円、1節保健衛生費負担金でございます。

2項県補助金、2目民生費県補助金、予算現額3億6千629万2千円、収入済額3億6千666万8千257円、1節社会福祉費補助金のうち備考欄3行目の地域生活支援事業費等補助金からはねていただきまして、28、29ページの2節児童福祉費補助金まででございます。

3目衛生費県補助金、予算現額990万1千円、収入済額1千20万8千56円、1節保健衛生費補助金のうち備考欄2段目、一般不妊治療費助成事業費補助金から一番下の風しんワクチン接種事業費補助金まででございます。

はねていただきまして、30、31ページをお願いいたします。

3項県委託金、2目民生費委託金、予算現額5万円、収入済額5万2千99円、1節社会福祉

費委託金と2節児童福祉費委託金でございます。

はねていただきまして、32、33ページ中段をお願いいたします。

17款寄附金、1項寄附金、3目民生費寄附金、予算現額110万1千円、収入済額110万円、1節社会福祉費寄附金及び児童福祉費寄附金でございます。

はねていただきまして、34、35ページの中段をお願いいたします。

20款諸収入、3項貸付金元利収入、1目貸付金元利収入、予算現額1億2千431万2千円、収入済額1億726万4千300円、収入未済額1千705万8千657円、1節貸付金元利収入のうち備考欄3行目、災害援護資金貸付金収入でございます。

4項受託事業収入、1目民生費受託事業収入、予算現額2千457万8千円、収入済額2千583万8千359円、1節社会福祉受託事業収入と2節児童福祉受託事業収入でございます。

5項雑入、2目雑入、予算現額5億4千182万6千円、収入済額5億1千554万9千899円、収入未済額1千361万4千126円、はねていただきまして、36、37ページの中段をお願いいたします。3節民生費雑入と4節衛生費雑入のうち備考欄の1行目、成人健康診査等受診者負担金と2行目、看護実習生等委託金でございます。

はねていただきまして、38、39ページの中段をお願いいたします。

21款市債、1項市債、1目民生債、予算現額9千100万円、収入済額9千100万円、1節児童福祉債になります。

令和元年度一般会計歳入決算書の健康福祉部所管分につきましては、以上でございます。

続きまして、一般会計の歳出に移らせていただきます。

各担当課長より説明をさせていただきます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課課長の鹿島でございます。

それでは、一般会計決算書、歳出について御説明いたします。

54、55ページをお願いいたします。

3款民生費、はねていただきまして、56、57ページをお願いいたします。

1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、予算現額24億6千437万1千円、支出済額24億3千910万5千611円、不用額2千526万5千389円、1節報酬から28節繰出金まで

で、備考欄の見出し、上から2つ目の社会福祉費から5つ下の見出し、社会福祉協議会費までと、さらに3つ下の見出し、介護保険特別会計繰出金でございます。

2目障害者福祉費、予算現額16億7千77万4千円、支出済額16億5千942万8千330円、不用額1千134万5千670円、1節報酬からはねていただきまして、58、59ページの23節償還金、利子及び割引料まででございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課長の古川でございます。

続きまして、58、59ページをお願いいたします。

3目高齢者福祉費、予算現額1億5千61万5千円、支出済額1億4千919万6千338円、不用額141万8千662円、8節報償費から20節扶助費まででございます。

5目社会福祉施設費、予算現額1億3千603万5千円、支出済額1億3千208万6千146円、不用額394万8千854円、2節給料から、はねていただきまして、60、61ページ、15節工事請負費まででございます。備考欄、清洲総合福祉センター費から春日老人福祉センター費まででございます。

高齢福祉課所管分につきましては以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。子育て支援課の所管分につきまして説明をさせていただきます。

同じく、60、61ページをお願いいたします。

3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、予算現額19億6千172万7千円、支出済額19億4千218万9千605円、不用額1千953万7千395円、1節報酬から23節償還金、利子及び割引料まででございます。主な支出といたしまして、子ども・子育て支援事業計画費につきましては、令和2年度から令和6年度までの5年間の第2期子ども・子育て支援事業計画の策定費、子ども・子育て支援費につきましては、令和2年4月開園のゆうあいこども園への施設の整備費としての認定こども園整備費、また令和元年10月からの幼児教育・保育無償化に伴うシステム改修費の子ども・子育て支援システム費並びに施設等利用費になります。

2目母子福祉費、予算現額3億2千903万2千円、支出済額3億2千591万5千471円、不用額311万6千529円、1節報酬から、はねていただきまして、62、63ページの23節償還金、利子及び割引料まででございます。主な支出といたしまして、消費税引上げによる子どもの貧困に対応するため、未婚の児童扶養手当受給者に対しての臨時特別給付金でございます。

3目保育所費、予算現額12億9千582万4千935円、支出済額12億7千488万1千351円、不用額2千94万3千584円、1節報酬から19節負担金、補助及び交付金までになります。主な支出といたしまして、保育園整備費では、桃栄保育園の駐車場の整備の工事費になります。流用内容につきましては、児童福祉施設費の職員手当等を流用したものでございます。

4目児童館費、予算現額4億7千69万4千円、支出済額4億6千439万2千666円、不用額630万1千334円、はねていただき、64、65ページの2節給料から19節負担金、補助及び交付金までになります。主な支出といたしましては、児童館管理費では、清洲児童館の駐車場の土地購入費、児童館整備費につきましては、西枇杷島児童センターの新築工事費の支出となります。

5目児童福祉施設費、予算現額3千397万7千65円、支出済額3千196万9千973円、不用額200万7千92円、2節給料から15節工事請負費までになります。主な支出といたしましては、母子通園施設の整備費につきましては、母子支援施設の屋根の改修工事を行わせていただきました。

最後に、6目子育て支援センター費、予算現額2千631万1千円、支出済額2千387万6千826円、不用額243万4千174円、4節共済費から、はねていただき、66、67ページの19節負担金、補助及び交付金までになります。

以上が、子育て支援課所管分の歳出となります。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課長の鹿島でございます。

同じく、66ページ、67ページでございます。

3項生活保護費、1目生活保護総務費、予算現額8千356万8千円、支出済額8千178万4千538円、不用額178万3千462円、2節給料から23節償還金、利子及び割引料まで、備考欄の見出し、上から2つ目の生活保護費でございます。

2目生活保護扶助費、予算現額9億3千252万4千円、支出済額8億8千664万3千987円、不用額4千588万13円、20節扶助費でございます。

4項災害救助費、1目災害救助費、予算現額17万2千円、支出済額7万5千297円、不用額9万6千703円、11節需用費から、はねていただきまして、68、69ページの20節扶助費まででございます。

社会福祉課所管分につきましては、以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

健康推進課、寺社下でございます。健康推進課所管分について説明をさせていただきます。

68ページ、69ページを御覧ください。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、予算現額2億8千342万1千178円、支出済額2億8千119万715円、不用額223万463円、1節報酬から19節負担金、補助及び交付金まででございます。主なものとしましては、救急医療に関する負担金などがございます。

2目予防費、予算現額3億7千216万1千822円、支出済額3億6千118万1千817円、不用額1千98万5円、4節共済費からはねていただきまして、70、71ページ、23節償還金、利子及び割引料まででございます。主なものとしましては、感染症予防費の予防接種費、高齢者インフルエンザ予防接種費、成人保健費のがん検診費、また母子保健費の妊婦等健康診査費などがございます。

認定第1号 令和元年度清須市一般会計決算認定について、福祉委員会健康福祉部所管分については以上でございます。

御審議よろしく願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは、審議に入ります。

歳入の順次ページを追っていきたいと思いますので、よろしく願いします。

まず、18、19ページ、歳入のほうですが、

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

児童福祉費負担金のところで不納欠損、収入未済額、まず、こちらのほうの状況を教えていただいてよろしいでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課、加藤です。

不納欠損分の金額になりますが、今回、不納欠損をさせていただきました件につきましては、公債費であります保育園の5年を経過いたしました9世帯11人分を不納欠損をさせていただいたものでございます。金額といたしまして59万3千961円でございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

小崎委員。

小崎 進一委員

いいです。ありがとうございました。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかにはありますか。18、19ページですが、ないですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

今の質問と関連しとるんですけど、収入未済額が540万円ありますわね。令和元年10月から保育園が無償化されとるわけですけど、その辺の内容をお願いします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

今、委員が言われましたように、確かに10月から保育料は無償化になっております。ただし、保育園につきましては、3歳未満児につきましては非課税世帯のみが無償化になっておりますので、3歳未満児の方につきましては保育料を徴収させていただいているところでございます。

まず、令和元年度の決算額からいきますと、調定率に関しまして、今年度につきましては、現年度分につきましては99.5%の徴収率でございました。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

収入未済額ですね、回収見込みはどうなんですか。全部回収できますか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

保育料の未済につきましては、私どものほうも保育園を通じながらとか、私どものほうからも保護者の方に通知をさせていただきまして、保育料の回収に向けて努力をさせていただいているところでございます。

例えば、児童手当のほうを受けてみえてる方につきまして、現在滞納してみえてる方につきましては現金支給にさせていただきまして、その中から一部でも支払いをしていただくような対応をさせていただいております。

今年度につきましては、児童手当の徴収金のほうから30年度、29年度、28年度分の合計で21万円を徴収することができました。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

また後で給食費に関しても質問させていただきます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

ほかにはありませんか、18、19ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

ないようですので、次へ行きます。

20、21ページ、いかがでしょうか。

(「なし」の声あり)

福祉委員会委員長(白井 章君)

それでは、22、23ページ、いかがでしょうか。ないですか。

(「なし」の声あり)

福祉委員会委員長(白井 章君)

では、24、25ページ、どうでしょうか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

福祉委員会委員長(白井 章君)

それでは、次、26、27ページ、ありませんか。

(「なし」の声あり)

福祉委員会委員長(白井 章君)

ないようですので、28、29ページ、どうでしょうか。

(「なし」の声あり)

福祉委員会委員長(白井 章君)

ないようですので、30、31ページ、どうでしょうか。

(「なし」の声あり)

福祉委員会委員長(白井 章君)

それでは、32、33ページ、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

福祉委員会委員長(白井 章君)

続いて、34、35ページはどうでしょうか。

(「なし」の声あり)

福祉委員会委員長(白井 章君)

ないようですので、36、37ページ。

福祉委員会委員長(白井 章君)

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

民生費雑入のところの児童扶養手当等返還金、こちらのほうの内容についてお聞きしてもいいでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

児童扶養手当の返還金につきましては、毎年8月に現況届とか、市民の方からいろいろな御意見をいただきながら児童扶養手当の不正受給はないかとか、いろいろ確認をさせていただいておるところなんですけど、昨年度、現況届を確認させていただいたところ、障害者年金を受給されたということで返還をされた方が1件の方と、実際、市民の方からお声をいただきまして調査をさせていただいたところ、事実婚があったということで1件返還をさせていただいた方がありまして、そちらの方が8万円ということで、合計の54万5千190円を返還していただくことになりました。

以上でございます。

小崎 進一委員

ありがとうございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかには。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

富田でございます。

先ほどもお話ししたんですけど、民生費雑入の収入未済額902万6千787円のうち保育園児主食費及び保育園児給食費、これは金額的に分かりますでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課、加藤です。

まず、保育園児の主食費につきましては、収入未済額につきましては88万5千640円でご

ざいます。

あと、保育園の給食費につきまして、10月から給食費のほうを徴収させていただく形になりましたが、その中で、今年度につきましては51万1千600円の回収ができなかった部分が含まれております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

ということは、収入済の主食費570万円とかいうのは、これは9月までの歳入。それから、3千137万円というのは、給食費が5千円ということですけど、の歳入でよろしいですね。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

そのとおりでございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

収入未済額902万円あるわけですけど、これも回収見込みというのはどのように考えられていますか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

主食費、給食費につきましては、先ほどの保育料と同様に、保育園を通じまして私どものほうから御連絡をさせていただくと。あと、保育園の担当係のほうからも連絡をさせていただいております。先ほどもお伝えをさせていただきましたように、児童手当のほうから一部でも回収をさせていただくような努力は努めているところでございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

そもそも給食費なんかは対応があった場合、誰がどういう形で徴収のほうをされるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

徴収につきましては、子育て支援課のほうで担当をしております。こちらにつきましては、先ほど申しましたように、しっかりと担当課のほうで責任を持って回収のほうに努力を努めていきたいと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

以前ですと、主食費の800円という形で済んだわけですが、今回から5千円。なおかつ本年度からは5千300円に値上がりということで、金額的にも大きくなるわけですが、回収ができない場合ですけど、皆、収入未済額のほうに入れられると。不納欠損のほうには回らないんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

給食費とか主食費につきましては私債権になっておりますので、不納欠損はできない状況になっておりますので、引き続き、回収に努力を努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

極端な話をすれば、毎年毎年、収入未済額がどんどん膨れ上がっていくような形になると思うんですけど、税の公平上、払う人と払わない人というのが出てくるというのは非常によくないことでありますし、結構な生活をされている方でも払わないということを聞いたことがあるんですけど、例えば、この間の保育園児お二人の方を置いたままお母さんが飲みに行かれて、

次の日まで帰ってこんかって亡くなられたと、あのような事件もあるわけですけど、そんな人は本当に給食費を払っとるんですかね。そういうのも考えると、払える人はどうやってでも徴収するような、例えば、収納課の人をやるとか、保育園の園長とか先生だけではなかなか難しい面があると思うんですよね。そういうことも考えて徴収するというような形は、収納課のほうはどうですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

三輪課長。

収納課長（三輪 好邦君）

収納課、三輪でございます。

先ほど担当課長が申しあげましたように、私債権、それから公債権、そういった区別がございますので、今のところ収納課のほうでは一緒にとすることは考えておりません。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

ぜひ、今後とも、本当に困っていてどうしようもない人も多々みえると思うんですけど、そういう人は別としても、横着で払ってない人は結構おるもんで、これはぜひとも徹底していただきたいと、そういうことだけ要望しておきます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

このページはほかにありますか。36、37ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、歳入の最後の38、39ページはいかがでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、歳出のほうに入ります。

54ページ、55ページでありますか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

ないようですので、次へ行きます。

56、57ページ。

野々部委員。

野々部 享委員

野々部でございます。

民生委員のことでお聞きしたいんですけど、民生委員は市のほうから地区のほうへ要請して、人数を確保するといろいろ努力してみえると思うんです。私のほうにも課長も数年前から、この人が定年になるから何とか探してほしいとか、いろいろ声をかけていただいて、地区の市政推進委員にも相談したりしてやっているんですけど、昔は女の人が多かったと思うんですけど、今は男女の比率というのはどんな状況でしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課長の鹿島でございます。

今現在、清須市では75名の民生児童委員の方と8名の主任児童委員の方がみえます。75名の民生委員、児童委員のうち男性の方が34名、女性の方が42名、主任児童委員のほうは8人が全員女性でございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

年齢的にはどんなもんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

皆さん、60歳で定年を迎えられても、まだまだお仕事をされている方が多いでございます。また、自営業の方も少なくなっているというような状況の中で、若い40代の方までは民生委員をやっている方が見えなくて、50名が数名、大半が60代で、定年が75歳までということですので、70代の方も御活躍いただいているような状況でございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

やってもいいわと思われる方でも、地元の担当地区を回るときは自転車でも歩いてでも回れるんだけど、市全体で会合があるときには車を使っていかなくちゃならないから、何とか頼まれたらやってみても、そこら辺が足かせになって難しい面もありますので、そこら辺は考えていただきたいということと、費用弁償費のどこなんですけど、金額的に平成30年度は570万円で、今回は倍ぐらいになっておるんだけど、これは何かの項目がここに入ってるの。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

民生委員に対する活動の費用弁償、これまで市は独自で皆様方にお支払いしていた分がございます。県のほうが直接、民生委員に現金で支給するような形で支給をしていたものが、昨年度から県のほうから活動費用弁償として交付金として受け取って、それを清須市のほうで民生委員にお渡しするという形になりましたので、民生委員個人にお渡しする活動費用弁償費としては、額としては変わらないですけれども、渡し方が変わったというふうな形で御理解いただきたいと思っています。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

渡し方が変わっただけで金額的には倍になるということですか。費用弁償以外に何かあるのか、そこら辺を。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

民生委員個人の方には県のほうから民生委員の活動費用弁償費として年額で2万9千500円、児童委員の活動費用弁償として2万9千500円、合計で5万9千円が費用弁償として支給させ

ていただいております。

市のほうとしましては年間で6万3千600円の費用弁償という形で民生委員のほうに支給をさせていただいておりますので、額がほぼ同額という形で、倍というような形で見えております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

民生委員はいろいろ活動してみえて、成果報告書でも社会調査とか、いろいろな相談をやってみえるんですけど、相談にあたられて、逆に、民生委員が市のほうへ相談事とか苦情と言っているかわからないけど、そういうのはいろいろ入っているんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

民生委員は地域の皆様方と市役所ですとか社協のほうとの橋渡し役という役割を担っていただいておりますので、お困り事ですとか相談事、民生委員だけで受けていただくのではなく、我々のほうにそういった情報を提供していただいて、我々のほうが必要に応じて民生委員にも関わっていただきながら、その方の問題を解決していくというような形となっております。

毎月1回ずつ各地区で定例会を設けておりましたので、そういった場で民生委員のほうから情報提供をいただいたり、こちらのほうから情報提供をしたりというような形で皆様方には地域の行政との橋渡し役という役割を担っていただいております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかにこのページありますか。56、57ページ。

ないようですので、私から質問させていただきます。

委員長の職を富田副委員長にお願いいたします。

よろしく申し上げます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

副委員長の富田です。

これより、委員長の職にあたらせていただきます。よろしく申し上げます。

それでは、質疑を受けます。

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

白井です。

障害者福祉費の中の障害者総合支援費の中の基幹相談支援センター費ってありますが、これは主要施策成果報告書の82ページに詳しく書いてあります。この内容の記載方法について、そして、事業の内容について質問をさせていただきます。

まず、記載の方法についてなんですけど、主要施策成果報告書の基幹相談支援センター費ということで見ますと、記載内容が決算額、事業目的、内容、成果などが記載されていますけれども、予算時に策定します主要施策概要の記載内容とほぼ同じ内容なんです。これは課長のほうも御認識されているかと思いますが、主な業務内容について、決算であっても項目だけが箇条書で記載されております、アからカまで。その具体的な取組の状況や実績、あるいは得られた成果などは記載がされておられません。決算書であれば予算の執行の結果の報告ですので、その内容報告が必要だと思うんです。内容としては、決算の報告としてはふさわしくないと思いますけれども、この点について御見解を伺いたいと思います。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

委員長の御指摘のとおり、この記載の方法についてはふさわしくないというふうに考えております。記載はこういうふうにしてありますが、社協のほうから年度末には年間の相談実績ですとか内容等々、また、その相談内容によっては、随時、担当のほうと連絡調整をして対応をしておりますので、ここの記載については来年度は必ず分かりいい記載に改善したいというふうに考えております。

以上です。申し訳ありませんでした。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ぜひ、来年度改善をお願いいたします。

それで、主要成果報告書は各所管が作成しますよね。最終的にはこういう主要施策成果報告書

としてまとめ、出来上がるんですけども、これが出来上がるまでの行程というのはどんな行程になっていて、その内容の確認というのは、もちろん所管課では自己チェックをされていますけど、全体的なチェックはどのようにされているのか、その点はお聞かせいただきたいんです。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

岩田課長。

総務部次長兼財政課長（岩田 喜一君）

財政課長、岩田です。

成果報告書につきましては1冊の本になるものですから、財政課のほうに取りまとめをしまして、表現等が一括になるように調整をしております。最初に原稿の提出を各課からしていただいた後に、最終校正まで3回ほど校正をしまして1冊の成果報告書を冊子として作成をしておる状況です。

以上でございます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

3回校正されるわけですけども、チェックされるということです。これは文字とか、そういうものが間違っていないかどうかということだけだと思んですけども、内容についてもチェックはされるのでしょうか。要するに、決算書の参考資料としてふさわしいかどうかという点も含めて見られるのでしょうか。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

岩田課長。

総務部次長兼財政課長（岩田 喜一君）

内容については所管課が作成したものを尊重するところが大事ですけども、財政課としましては、同じ表現で冊子全体ができてくるかどうか、そういうところをチェックしているという状況でございます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

自分で作成する文章というのはなかなか気がつかないところもありますので、3回校正される

んであれば、内容も見ていただくようにすれば、成果報告書もよりよいものになっていくのではないかと御検討をいただきたいと思いますが、いかがですか。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

岩田課長。

総務部次長兼財政課長（岩田 喜一君）

成果報告書につきましては、予算のときの主要施策の概要といわゆる対になっていますので、今まで体裁ですっとしばらくやってきておるわけですが、一度、財政系のほうで検討はしてみたいと思います。

以上です。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

そこで、1つ余分なんです、この中にはいろいろ当年度の金額が表されておりますけれども、自己チェックにもなるかと思いますが、前年度と比べてどうかというのをどこかの枠をつくってもらって、前年比どうだ、何%だと、そういうことが分かるようになれば、皆さんそれぞれの所管の自己チェックにもなるんじゃないかと思いますが、その辺はいかがでしょう。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

岩田課長。

総務部次長兼財政課長（岩田 喜一君）

ただいまの白井委員長の御意見につきましても、一度、財政系のほうで研究させていただきたいと思います。

以上です。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

それから、今、記載の方法で質問させていただきました。今度は内容について。

基幹支援相談センターは社会福祉協議会のほうに100%委託ということになっています。これは障がい者に対する相談業務内容、実績等ですね、身体とか知的、あるいは精神の障がいの方々に対しての相談を受け付けして、いろんな要望に対して対応をしていくというようなサービス

スを提供していくということですが、いろいろ今やられていると思うんですよね。ここには載ってませんが、一生懸命やられていると思うんですけど、この主な業務内容とどのように取り組まれて、成果はどのように得られているか、多分その点の評価・検証というのは社会福祉のほうでやられていると思いますけども、その辺どのようにやられているか、大まかで結構です。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課長、鹿島でございます。

基幹相談支援センターの大きな業務としましては、精神保健福祉士とか社会福祉士といった専門的な資格を持った職員が地域における相談支援事業所等に対する指導ですとか助言、あるいは情報収集ですとか地域移行に向けた取組等々を実施することによって、障がい者の方が地域で暮らすための支援を行っております。

清須市の障がい者の方が清須市における障がいのサービスを受けようとする場合、面接等々に行き、その方がどういったサービスを利用したいかというような意向確認をしながら、その方に合ったサービスの情報等々を提供して、その方が地域で暮らしやすいようにというお手伝いをしております。

以上でございます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

相談支援センターがより充実されていくように努めていただきたいと思います。

以上です。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

それでは、白井委員長の質疑を終わります。

これで私の委員長の職を終了しまして、白井委員長のほうにお渡しいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

委員長の職にあたらせていただきます。

このページを終わりにして、58、59ページでよろしいでしょうか。

野々部委員。

野々部 享委員

新川の福祉センターのことでお聞きしたいんですけど、今、土地の賃借料があるんですけど、これは何年契約で、坪か平米か、どのぐらいで借りてみえるのか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川です。

今、資料のほうを持ち合わせていないので、調べさせていただきます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

別件で、福祉センターのほうなんですけど、前に出していただいた公共施設の個別施設計画書を見ると、2035年で新川小学校とこちらのほうが統合するようないことが書いてあるんですけど、土地の借りる契約等、そこら辺はどういうふうになっているかなと思って、それをお聞きしたかった。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川です。

それは統合した際の賃借料のことでよかったですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

何年契約っていうのがあるんですけど、それで区切りとか、そこら辺はうまくいくのか。これだけうたってあるということは、そのように計画は進められると思うんですけど、そこら辺はどんな状況になっているかなと思って。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岩田次長。

総務部次長兼財政課長（岩田 喜一君）

財政課長、岩田です。

新川福祉センターの土地の使用が何年契約ということは分かりませんが、そういうところを踏まえて新川小学校の施設と統廃合するということは実は踏まえておらず、その目標に向かって実際に統廃合するときになったときに改めて検討する事案であるとは考えております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

だけど、これだけの計画書が出ているということは、その方向では進んでみえるということやね。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岩田次長。

総務部次長兼財政課長（岩田 喜一君）

こちらにつきましては、あくまでも目標ということで、この方向に進むような目標で全体的に進めたいというように考えております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかにはありますか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

岸本でございます。

高齢者福祉のところの敬老費でお尋ねしたいんですが、この敬老会、本年、コロナ禍によって縮小といたしますか、開催の仕方がこれまでと違うということですが、広報にも載っているんですが、9月15日どのように開催されるのか、もう一度お尋ねいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

9月15日の敬老の日につきましては、金婚式の祝辞だけ開催予定になっております。広報で呼びかけをしております、現在31組の方の申込みがございまして、このコロナ禍ですので、キャンセルの方もみえると聞いておりますので、金婚式は31名と人数が多いものですから、2組みに分かれての金婚式の開催を考えております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

31組って、昨年が16組で倍ぐらいいらっしゃるのかなと思うんですが、それでお聞きしたいのは、昨年、これまでそうですけど、春日公民館に集まっていたいて、75歳以上の方、昨年で約8千300人対象いらっしゃるって、要は、記念品というのはお茶だったと思うんですが、お渡ししてたと思うんですが、本年はどうされるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

本年につきましては、コロナ禍で、お配りするにも人が混雑するというのもございますので、配付のほうは考えておりません。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

配付のほうは考えていないですけど、毎年頂いている方は、それは周知とか御通知はしていらっしゃるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川です。

敬老会の開催についての中止につきましては周知しておりますけれども、配付につきましては伴ったものですので、特段周知はしていません。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

私も何人か市民の方から聞かれて、ないことは見たよと。当てにしているわけではないけど、あれはどうなんだねということもお尋ねがあったので、私、親切心としては、毎年配っている記念品は、今回は控えさせていただきますとか、単価が幾らか分かりませんが、これまで差し上げていたものを、それが無いからというのはそちらだけが分かってることであって、これって何らか周知っていうのは、部長、いかがなんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

河口部長。

健康福祉部長（河口 直彦君）

健康福祉部長の河口です。

先ほど課長が答弁しましたように、当方としましては、敬老会とのつがいということで、記念品を配ることも中止にしたということ、単体での広報はしていません。

委員言われますように、親切心でどうですかというふうな問いにつきましては、確かにそういったこともありませんということ併せて広報すればよかったかなというふうに思っております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

ちなみに、単価は幾らですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

昨年度はお茶のほうを配付させていただいております、270円の単価のお茶を配付させていただいております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

毎年このところずっとお茶で、うちも母がおりますので、頂いているんですが、記念品の事業費として、昨年は約123万7千円出費ってあるんです。単価が安いとか高いとかじゃないんですけど、繰り返しますけど、これまでお渡ししてたものを、ないから、こうしたから、それもないよというの、あげる、あげない別にしても、それはお知らせをしてあげるべき。それはそちらのほうの手落ちという大変な言葉だと思いますが、15日ありますけど、再度何らかで周知するとか、後日でもとか、もう一度、部長お考えを。それでもしないとされるスタンスなのか、私は寂しいというか、不親切だなというのほどこまでも拭えないんですが、部長、どうですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

河口部長。

健康福祉部長（河口 直彦君）

再度という話ですけれども、既に9月ということで広報周知もできない状況です。10月号で後手に回っての周知というのあれですので、今のところ再度配りませんでしたという通知につきましては、今後の課題として考えていきたいというふうに考えております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員、お願いします。

岸本 洋美委員

市長、すみません、今の件につきまして御所見だけ。

永田市長。

市長（永田 純夫君）

中止という広報はいたしたんですけども、記念品のことについて言及がなかったということで反省をいたしております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

残念ですけど、今後そういったことも配慮をお願いしたいと思います。

もう1点いいでしょうか。

その下のシルバー人材センター、これもいいですか。

シルバー人材センター、コロナ禍によってお仕事が減ったということを会員さんから様々お聞きいたしました。そういった相談とか、下部の団体ですけど、何かコロナの影響でございましたでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

現状、こちらのほうにはシルバー人材センターからのそういったお話は伺っておりません。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

確かに、施設とか閉館をしていらっしやいましたね。そのときシルバーで詰められていた方、窓口へいらっしやった方、仕事がないよということ、また、ほかのほうの仕事でも3人ぐらいから、私も仕事なくなった、困ったって、5月ぐらいのときですか、お話があったんです。それで1点確認したいのは、これも河口部長にお聞きしますが、相談はなかったということですが、たまたま隣の来た名古屋市が市として500万円、シルバーに交付をされましたが、本市としては全然考えはなかったのか、何か思われたのか、その辺をお聞かせください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

河口部長。

健康福祉部長（河口 直彦君）

シルバー人材センターの活動につきましては、コロナにおいてかなり活動が縮小になったということは聞いております。特に、市での施設等の管理もございます。そうした中において、うちの施設を休館するときにシルバー人材センターのほうの事務局とも話しして、どういう状況ですかというような話は伺っております。うちの施設以外にも活動は減っておるという話ですけど

も、そうした中で事務局のほうとも話はさせていただいておりますけれども、特段、喫緊においてシルバー人材センターに補助を行われなければいけないような、そういった状況ではないというふうに伺っておりますので、本市としては今のところはそういったことは考えておりません。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかにはこのページ、よろしいでしょうか。

野々部委員。

野々部 享委員

野々部です。

先ほどの敬老費のことでお聞きしたいんです。

敬老記念品、これは大体いつも実績でどれくらい用意というのはされるのか。対象者に対して何割ぐらいつくる。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

記念品につきましては、6千準備させていただいております、昨年度につきましては4千585個配付しております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

6千つくられるのね。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

つくらせていただいて、使った分だけの請求をいただいております。使わなかった分については返却させていただいております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

無駄はないということやね。分かりました。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかにはないですか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

次へ行きます。

60、61ページはいかがでしょうか。

松岡委員。

松岡 繁知委員

松岡です。

子ども・子育て支援費の部分の子ども・子育て支援システム費並びにこの施設利用費の詳細と
いうか、そこを詳しく教えていただきたいです。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課、加藤です。

子ども・子育て支援システム費につきましては、昨年10月から始まりました幼児教育・保
育の無償化ですが、システムの改修をさせていただくものでございます。

改修内容につきましては、施設等利用費、後で説明をさせていただきます、そちらの認定区分
の追加であったりとか副食費の項目であったりとか、決定通知のほうを送らせていただいておりますが、レイアウトの変更等でシステムの改修をさせていただいたものでございます。

施設等利用費につきましても、幼児教育・保育無償化が始まりまして新たに始まった制度でござ
いますが、こちらにつきましては、3歳から5歳につきましては保育料のほうが無償化、0歳
から2歳の非課税世帯が無償化になるんですが、まず幼稚園、認定こども園とか保育園を利用さ
れた方は無償化になりますが、例えば、認可外保育施設を使ってみえてる方とか、例えば、幼稚
園の方でも保育を必要とされている形で、一時預り等、預り保育等をされてる方等がありますの

で、そちらの方も同様の形で無償化をさせていただくものでございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかには。

岸本委員。

岸本 洋美委員

岸本でございます。

ひとり親家庭のこともこのページでよろしいですか。

決算のことではないんですが、コロナ禍によりまして、国のほうが支援しましたひとり親家庭の現況をお聞かせください。ひとり親の申請があったと思うんですけど、家庭に5万円、子ども1人3万円という、その現況をお聞かせください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

今、言われましたように、ひとり親家庭に臨時特別給付金を支給させていただいておるところでございますが、こちらのほうですけど、対象になる方につきましては、まず6月分の児童扶養手当が受給をされてみえてる方、児童扶養手当を受けるにつきましては所得制限がありますので、所得制限を超えて受けてみえてない方、あとは新型コロナウイルスの感染影響を受けて家計が急変になって児童扶養手当の受けれる方の数字になった方というふうになっております。

まず、今回、私どものほうですけど、児童手当の6月分の支給の方につきましては、当然、受けてみえてる方等を把握しておりますので、今回403世帯の方が支給のほうをさせていただいております。対象児童としましては、622人の方に支給をさせていただきました。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

締切りって終わったんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

先ほども言いました児童扶養手当の所得制限を超えてみえてる方とか、急激に所得が下がった方につきましては、まだ受け付けのほうをさせていただいておりますので、随時、現況届等を踏まえた形で申請を受け付けさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

当初対象者が410人ということで予算のときでしたか、伺っておりました。ほぼ似たような世帯ですかね、410世帯ですか、ほぼ一緒かなと思うんですが、金額にしてどのくらいなんですか。まるっとでしょうけど。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

まず、今回、6月で支給をさせていただいた金額につきましては2千672万円を支給させていただいております。支給日につきましては、8月27日に支給をさせていただきました。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

最終っていつまで締切りでしたか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

最終が12月まで受け付けをさせていただきます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

市としてほぼ予定していた人は、当初上げた人数でしょうけど、ホームページには載ってますけど、12月までというのはどういった形で周知されていくんでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

引き続き、まず、こちらの制度の周知をさせていただきたいと思っておりますので、毎月々こちらの制度を広報等に載せさせていただきたいと思っております。

児童扶養手当を受けてみえてる方につきましては、8月に毎年必ず現況届を提出していただいておりますので、その中でこういう制度がありますということを再度周知をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

ぜひ、対象者の方が本当に1人も漏れなくこういったことを受けれますようにお願いします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

副委員長の富田です。

施設型給付費及び地域型保育給付費ですね、これは青本の115、116ページですけど、これを見ますと、施設型給付費のほうでは利用者193人について1人あたり大体100万円ぐらい、それから、地域型保育給付費については、利用者が僅か37人にもかかわらず1人あたり221万円かかっているわけですね。100万円ぐらい違うんですけど、説明をお願いしたいと思います。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

施設型給付費につきましては、まず、1人あたり保育を必要とする公定価格というのがありま

すので、そちらから利用料を引いた部分を私どもは給付費として各施設のほうに預らせていただきますが、施設型給付費につきましては、例えば、ゆめのもりこどもえんのほうですが、こちらのほうにつきましては、保育園部分と幼稚園部分を含めた形でさせていただいておりますので、年齢の高い方がありますので、どうしても1人あたりにかかる費用につきましては、年齢が高くなりますと単価が安くなっておりますので、施設型給付費につきましては1号認定、幼稚園部分を含めた形で単価のほうが安くなっていると思っております。

地域型保育施設につきましては、3歳未満児の受入れをさせていただく形になっておりますので、こちらにつきましても先ほどと同様の形で、公定価格から保育料を差し引いた部分を各施設のほうに支払いをさせていただいておりますので、3歳未満児につきましては、どうしても1人あたりに係る費用のほうが高くなるということになりますので、1人あたりの単価が高くなっているところでございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

今、公定価格というふうにおっしゃられたんですけど、これは分かりますか。私、知りたいです。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

公定価格につきましては、1人の子どもさんを1か月お預かりをさせていただくのにかかる費用になります。その中には、人件費であったりとか物件費、いろんな諸費用がかかるかと思っております。そういうものがもろもろの金額、これは国が定められた金額になっております。これは地域によって単価が違ってまいりますので、こちらのほうは国が定めた価格になっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

そうすると、今ですと0歳から2歳までの子どもは保育士も人数が要ると。3歳から5歳に関

してはそれほど人数が要らないと。現状は、今、0歳から2歳、各年齢によつての保育士の数で
すかね、教えていただけますか。年齢に対する保育士の数ですね。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

0歳児ですと3人に1人の保育士が必要になってくるという形です。1歳児ですと5人に対し
て1人、2歳児ですと6人に1人、3歳児ですと20人に1人になります。4、5歳児になりま
すと30人に1人保育士が必要というふうになっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

そのほかの質疑ありますか、このページ。ないですか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

ないようですので、次、行きます。

62、63ページ、いかがでしょうか。ありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

ないようですので、私から質問をします。

富田副委員長に委員長の職をお願いします。よろしくをお願いします。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

副委員長の富田でございます。

委員長の職にあたらせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

63ページの保育園の管理費の中の委託料、主要施策報告書には130ページになります。1
30ページを見ていただきますと、たしか213万963円ということになっております。ほか
にも委託料の項目があと3項目ほどありますよね。警備業務とか消防設備の保守業務とかいろい
ろありますが、この中の樹木管理業務、これが213万963円ということになっております。
前年度の決算額を見ますと305万9千424円ということで、それに比べると92万8千円余

り少なくなっているんですね。約3割ぐらい少なくなっています。ほかの費目は変わってないです。ほかの委託料は変わってない。それだけ経費が少なくなっている。いいことなんですけど、3割も少なくなっているんでお聞きしたいんですけど、樹木管理業務というのは、前年度の令和元年度の内容も同じ内容で13園ですね、やられたのかどうか。

それから、樹木管理業務の仕事の内容も、仕事をやられた後もほとんど同じなのか、それでこれだけ安いのか、その辺はいかがでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課、加藤です。

樹木管理料につきましては、平成30年度と令和元年度につきましては同じ保育園13園というふうになっておりますが、ただ1点違いますのは、令和元年度の決算につきましては、一場保育園のほうが仮設園舎になっておりますので、まず、樹木につきましては、そちらの消毒回数につきましては、減っていることもあります。あと、全体的に入札金額のほうも下がっていることもありますので、樹木管理料につきましては、剪定1回と消毒年2回をさせていただいているものでございます。

以上でございます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、今、答弁がありましたように、一場保育園の部分が比較するとないから、これだけ少なく92、3万円になんですけど、全体の3割ぐらい占めているんです。結構、何分の1かになるんですけど、一場保育園だけでなくして、それだけあります、13園保育園がある中で。その確認だけお願いします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

まず、今のところは、主なというところで説明をさせていただいておりますので、実際に昨年度でも一場保育園のほうで相当金額のほうが減ってるというところで、詳しいところがあればです

けど、まず、主なものとしましては、一場保育園の部分の樹木のほうが少なくなったということになっております。

以上でございます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

具体的に御答弁がないので分かりませんが、これだけ3割の経費が少なくなる理由が知りたかったんですけど、全体的な受託者というのは変わってないんですか。前年度、令和元年度も。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課、加藤です。

指名競争入札をさせていただきまして、業者的には昨年度と同様な業者が落札をされて行っております。

福祉委員会委員長（白井 章君）

分かりました。結構です。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

では、白井委員長の質疑を終了いたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、委員長の職にあたらせていただきます。よろしくお願いいたします。

このページはほかにありましたでしょうか。62、63ページですね。ないですか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、次へ行きます。

64ページ、65ページはどうでしょうか。

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

お聞きしたいんですけど、青本の135ページですけど、児童館事業費の中で、これは星の宮

児童センターの中高生の利用者が極端に多いんですけど、これは何か理由はあるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課、加藤です。

星の宮児童センターにつきましては、グラウンドが広いということがありますので、ボール遊び等をしておりますので、高校生も含めて小中学校の子どもさんが多く遊ばれるということで、利用者が多いということになっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

中高生もグラウンドのほうで遊ばれとるということですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課、加藤です。

まず、児童センターにつきましては、18歳未満の方が遊ぶことが可能になりますので、高校生も利用は可能であります。高校生が遊んでいただくにつきましては、例えば、児童クラブを利用されていた方々ですね、そういう方々が今後引き続き小さなお子さんを勉強を見られるとか、ボランティアでお手伝いをされるとか、そういう方々もおみえになりますので、グラウンドが広いということは利用しやすいということで、遊びに来ていただいたときに一緒に低学年の方と遊んでいただいているということで、利用者が多いということが1つ挙げられると思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

今、卒業された方とかが勉強を見られたりとかいうことでお助けいただいておりますのは非常にありがたいんですけど、高校生がグラウンドを占拠しちゃって小さい子どもは使えんとか、そうい

うような苦情とか、そういうことはないですか。

利用方法につきましては、時間を考えたり、そういうことは児童館の館長が責任を持って管理をしておりますので、小さなお子さんがせっかく遊びに来ても利用ができないということはないような方法をとらせていただいております。

福祉委員会委員長（白井 章君）

よろしいですか、ほかありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、次のページへ行きたいと思います。

66、67ページ、ありませんか。

岸本委員。

岸本 洋美委員

岸本でございます。

生活保護費関係のところでお尋ねしたいんですが、今の現況のコロナの影響で生活困窮の相談ですとか、貸付け、また生活保護、この辺の一連のところはどういった相談、貸付けももちろんたくさんあるんでしょうが、お聞かせください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島でございます。

コロナの影響によって仕事が休業になってしまって少なくなったですとかいうような形で御相談がございます。社会福祉課のほうでコロナの対策として行っている事業としまして、賃貸を借りられている方が収入の減少等によって家賃が払えないという方に対して住居確保給付金というような制度を御利用いただくようなこともやっております。

あと、社会福祉協議会のほうで緊急小口の貸付け等々を行っておりますので、こちらのほうについては利用者の方、あるいは生活が困ってどうしようですとか、働き口がないというような生活に困った方の相談というのが昨年度に比べて急増しているような状況でございます。

定額給付金等々で1人あたり10万円の給付金が下りたりですとか、先ほども社協のほうの貸付け等々を利用して、まずは一旦、緊急の当面の生活費については何とか手当ができたという

方が何人かおみえですが、経済がまだ停滞しておりますので、収入がないというところで、生活保護の相談も8月以降、徐々に増えてきているような状況でございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

今いろいろおっしゃっていただきましたが、具体的に今、分かれば、社協の小口資金ね、10万円、20万円、件数は分かりますか。それと、生活困窮の窓口にあります住居確保の家賃の支援相談件数。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社協のほうの貸付けの金額については、今、手元に資料がないですけれども、社会福祉課のほうでやっている住居確保の数字なんですけれども、これまでに住居確保に関する相談の延べ件数としては、8月末現在で442件、そのうち住居確保の申請としては53件受け付けをしております、50件について既に支給のほうの決定をしております。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

社協のはまた後で教えてください。

それと、生活保護、先ほど増えたとおっしゃったんですが、ここ数か月でもいいですが、何件ぐらい増加したんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

生活保護の相談なんですけれども、全体ではこの4月以降、29件の生活保護の相談がありまして、そのうちコロナの影響というものが4件ございます。実際に生活保護の申請をされた件数なんですけれども、8月末までで24件のうち3件がコロナの影響という形で生活保護の申請がございました。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。いずれにしても、こうした状況の中で増えてはいるんですが、こちらは生活困窮者の窓口で担当をしているところですが、家賃支援のほかにもどういった相談があるのでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

家賃が払えないというのが、今、働いてみえる方が収入が少なくなった会社から来なくていいという形で、離職・休職というような形の相談も多くございます。ハローワークのほうとも連携を取りながら、就労に向けて就労支援等々の支援を行っているような状況でございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

コロナはこの2月ぐらいですかね、私も困窮者の窓口に行かせていただいて、るる、いろいろ状況をお聞きしていますと、とてもとても電話も鳴りっぱなしで、相談件数も多いということなんですが、市として、困ったと窓口にみえた方、社協も含めてですけど、どのような支援をされているのか。もちろん物品の支給もあるでしょうけど、その辺を近況でも。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社協のほうにも貸付け等々の相談が増えてまして、こちらの生活困窮の支援員と連絡調整をしながらその方の支援にあたっております。

また、今年の4月から社協のほうでフードドライブの取組も始めておりますので、食べるものがないという方については、社協のフードドライブを活用したりですとか、清須市のほうがセカンドハーベスト名古屋と協定を結んでおりますので、そちらのほうから緊急の食料等々をその方

に渡して、その方の食のほうを提供しているというようなこともございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

事細かに窓口で相談に乗っていらっしゃったり、物品の支給といたしますか、おっしゃっていました。フードドライブも始まって、社協に聞きますと、結構いろんな企業からとか寄附を頂いているということもお聞きしていますが、セカンドハーベストはよく新聞に載っていますけど、あそこは大変によく載っていますよね。だから、市としても本当に頼ることは申し訳ないという気もしますが、反対にしばしでね、社協がもちろん中心ですけども、その辺のところというのは協定を結んでいらっしゃるんですが、セカンドハーベストから協定で1か月に何人か分からないですけど、頂くというか、それは何件かあるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

セカンドハーベストの利用なんですけれども、昨年度は47件の支援を受けております。今年度につきましては、8月の末時点で8件の支援を受けております。

先ほど岸本委員が言われたとおり、セカンドハーベスト自身もかなりいろんな需要が多くて、食料の備蓄等にもお金がかかるというところで、1回あたりの実費相当の額も上がったりしておりますので、せっかく社協のほうでフードドライブという取組を始めたというところでもございますし、市の職員のほうもフードドライブの取組に協力をしているところでもありますので、社協のほうのそういった取組にも支援を求めながら対応していきたいというふうに考えております。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員、大分時間が過ぎていきますので、休憩をしたいと思います。

岸本 洋美委員

1点だけ確認で。

今、困窮者窓口が相談件数が多いんですが、窓口の職員は足りてますかといいますか、もっと職員の配置は考えなくてもいいですか、それだけいいでしょうか。確認です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

今、生活困窮の職員が専属という形で会計年度職員の3人の方が生活困窮の相談にあっております。その方が相談等で相談室に入っている場合なんかについては、ケースワーカー等々が対応をしているような状況で、何とか今こなしているというような状況でございます。

以上です。

岸本 洋美委員

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

先ほど野々部委員から御質問のありました新川福祉センターの土地の賃借料ですけれども、前年度の固定資産税の評価額の100分の5の価格で契約のほうをさせていただいておりまして、坪が234.6坪でございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ここで休憩したいと思います。

11時10分に再開いたしますので、よろしく申し上げます。

（ 時に午前10時58分 休憩 ）

（ 時に午前11時10分 再開 ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

66、67ページ。

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

新川福祉センターの土地賃借の契約につきましては、賃借契約期間は、平成21年から31年3月31日となっております。それ以降は、満期後はさらに1年間契約更新ということで、毎年、契約を更新していくものとなっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

計画書や何かで何年度というのがうたってあるんだけど、それを受けて1年ごとの契約をされるということで、そういうふうに理解していいですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

そのとおりでございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島でございます。

先ほど岸本委員から御質問がありました社協の貸付けの状況が分かりました。8月末、まだ確定ではありませんが、3月以降の緊急小口の申請のほうは約380件で5千万円、総合支援のほうは約65件で2千500万円というような状況でございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

松川です。

生活保護なんですけども、前も聞いたと思うんですが、外国人の状況、できれば直近も含めて、コロナの影響も含めて教えてください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

4月1日現在なんですけども、外国籍の生活保護を受けられている方につきましては、27世

帯の36人でございます。大半が韓国・朝鮮籍の方でございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

直近でコロナの影響というのはありますか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

外国人の方でコロナの影響で生活保護という方は今のところ把握しておりません。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかにはないですか。

松岡委員。

松岡 繁知委員

松岡です。

生活保護費、生活困窮者学習応援費という部分で、ここに15名の方が応援費を頂いて、1人22万2千円のお金というか、予算で学習支援を受けてるんですけど、前年が12名で、1人頭約20万3千円というお金を応援費として使っている。これの委託費の内容をお聞かせください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

この学習支援につきましては、株式会社トライがプロポーザルの結果、受託をして選定しました。その委託料の中なんですけども、基本的には大半が人件費というふうに理解しております。細かい数字、人件費が幾らとかといったものは、すみません、今、手元に持ち合わせておりませんが、大半が人件費と会場の賃貸料等々も委託料の中の一部から支払われているというふうに認識しております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、ほかにはないようですので、次へ行きます。

68、69ページ、いかがでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

お聞きします。

予防接種のことでお聞きしたいんですけど、今このような状況で、乳幼児をお持ちのお母さん方、予防接種を受けにいかうとか、健康診断をやりにいかうということで思ってみえると思うんですけど、本当はやってほしいんですけど、こういう状況で、二の足を踏んで今回はやめておこうとか、そういうように思われる方も多々あると思うんですけど、特に予防接種の場合だと1回だけで済まなくて、もう一回やらなくちゃならないとか、何歳から何歳の間にやらなくちゃならないというのがあるんですけど、今の現状でそこら辺、弊害が出ているとか、今の現状をどのようにお母さんたちはちゃんと受けてみえるのか、そこら辺、今、把握してみえる範囲内でお聞きしたいと思うんです。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

健康推進課、寺社下でございます。

予防接種に関してですが、厚生労働省のほうから予防接種に関しては不要不急の外出にあたらないうふうな文書も来ておりまして、それを広報ですとか、キヨスマで御案内もさせていただいて、清須市においての予防接種に関しては、昨年と比べて減っているということはございません。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

市のほうも啓発活動をしてやってみえるという努力の結果ということやね。それと、お母さんたちも子どもさんたちのことを考えてしっかりと予防接種をやってみえる。

ありがとうございます。

それと、続きでお聞きしたいんですけど、高齢者のインフルエンザの予防接種のところでお聞きしたいんですけど、今現在、65歳以上の方が自己負担1千円で予防接種をできてるわけなんですけど、この秋から冬にかけて新型コロナとインフルエンザが同時に流行した場合に重症化とか医療現場が混乱することが危惧されております。本市といたしまして、妊婦さんとか子どもたちのインフルエンザの予防接種を今までより打ちやすいように、そういう環境を整えるということも私たちが考えているわけなんですけど、その補助制度というのを、いろいろ大変かも分かりませんが、ぜひ、そちらのほうを進めていただきたいと思うんですけど、そこら辺、市長どのように考えてみえますでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

永田市長。

市長（永田 純夫君）

今、御指摘のように、今年はコロナとインフルエンザの同時流行が懸念されとるということで、国のほうも優先順位をつけて打って下さいというようなアナウンスもしています。高齢者と妊婦さん、子どもたち、それから医療従事者ということで報道はあるんですけども、市のほうも重篤化しない、そんな必要性から、補助制度については、今年に限って充実をさせないかなというふうに思っております、担当のほうには、どういう方法でやったらいいのかということで指示を出してあります。

高齢者については、委員おっしゃったように補助制度がありますので、あとは妊婦さん、そして子どもたちも幅広くやりたいなというふうに考えておって、近々結論を出そうというふうに思っておったんですが、実は今朝、担当から報告がありまして、昨日、国から通知が夕方入ったということで、それは何かといいますと、同時流行が懸念されるということで、全国的に幅広く補助制度を実施する傾向があるということで、そうなったときにワクチンの本数がどうも決まっておらず、結局そういうことをすることによって、本来打ってもらわないかん人が打てなくなる懸念があるということで、近いうちに国のほうで会議を開いて優先順位を決めるというような、そんな話もあって、それを見て判断しようかなというふうに思っております。

恐らく順番としては高齢者から妊婦さんと子どもたちということになると思うんですけども、子どもたちでも大分絞ってくるのではないかなと予想はつくんですけど、その辺を見てやっていきたいと思うんですけど、いずれにしても予算が高齢者分しか組んでないもんですから、もしやるということになれば、正副議長さんを始め皆さんにお願いを申し上げて、補正予算を何とかせな

いかんなどというふうに思っておりますので、その際にはよろしくお願ひ申し上げたいと思います。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

今、市長が言われた予算のことや枠が足りなくなってくるかも分からんということを今、言われたんですが、ぜひ前向きに検討していただいて、重篤化するというのが懸念されておりますので、そこら辺よく理解していただいて、ぜひ、その対策をよろしくお願ひします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかにありませんか。

松川委員。

松川 秀康委員

松川です。

休日救急診療なんですけども、今、閉鎖というか、閉まっていると思うんですが、コロナの感染拡大防止のため、その設備が十分でないという理由なんですけれども、この設備が十分でないというのは、具体的にどのようなところでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

健康推進課、寺社下でございます。

新型コロナウイルス感染症陽性者の発生を受けて、感染予防の環境が整っていないというところで、現在、東部・西部の休日診療所は中止をさせていただいております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

感染予防の対策をするのにどれだけ費用がかかって、それがないからできないという、そういう判断をされているんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

感染予防の費用というよりも、休日診療所の広さですとか、そういったことも関係して現在は中止をしております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

私も利用したことがあるんですけども、具体的に、あれぐらいの医者だったらあるんじゃないかというような感じで見ているんですけども、休日、困った人が診療を受けるのであって、もちろん不要不急でもないし、だから、コロナの状況でもお医者さんは普通にやってますよね。だから、感染拡大防止ができる対策をしてやればいいと思うんですけども、それほどコスト的に見合わないというか、膨大な費用がかかってしまうのかどうなのか、その辺、具体的に教えていただければありがたいと思います。

福祉委員会委員長（白井 章君）

河口部長。

健康福祉部長（河口 直彦君）

休日診療所につきましては、コロナが流行し始めた頃に西部・東部共にですけれども、先ほど課長が答弁しましたように、広さ的なことで感染防止が完全にはできないということで、医師会のほうから、あちらのほうでの休日診療所を中止したいという旨の申出があつて今に至っております。

今、言われたように、あれぐらいの広さの医療機関ならあるんじゃないのという話ですけれども、医師の立場からして考えると、自分のお城ではないところでお医者さんだけ来て診るというような状況でやっておりますので、医師側として、あちらのほうでできれば避けたいということの申出がありました。

この期間につきましては、今のところ3月末までをこの体制でというふうになっておりますけれども、その後、どうするのかという議論につきましては、今、3市町、また医師会の先生方、消防署を含めた上で議論をしておる最中ですので、そういったところでの御理解をお願いしたいと思います。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかにはありませんか。

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

副委員長の富田です。

風しん等予防接種費ですけど、青本で155ページなんですけど、昨年より760万円ほど増えてるわけで、これによりますと、特定の年齢の男性に風しん抗体検査及び予防接種を実施したということで金額が増えたと思われるんですけど、特定の年齢の男性ていうのはどういう男性ですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

成果報告書のほうにも書かせていただいているんですけども、対象者としましては、昭和39年4月2日から昭和56年4月1日生まれの男性がこの追加的対策第5期の定期接種者となっております。この年代の方々には風しんの予防接種を受けていらっしゃらない方になりますので、今回、追加的対策として対象となっております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

分かりました。

その割には受診率を見ると20%弱ですね。全員が受けられてないということで大丈夫なんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

昨年の受診率は19%ということになっておりますが、この方々については、これは3年間の対策になっておりまして、本年度も接種いただけるようになっております。

また、対象の方にはクーポン券を個別にお送りさせていただいて検査・接種をお願いしておりますので、引き続き、広報、ホームページなどで御案内をしてみたいと思います。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

ありがとうございました。

昨年の青本には助成金として1人5千円というふうに明記されておったんですけど、今回明記はされていないんですけど、全額実費ということですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

この追加的対策に関しましては、検査、予防接種共に無料でお受けいただけることになっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

そうすると、昨年の補助の5千円というのは、男性以外の方の補助ということですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

そちらの5千円に関しましては、妊娠を希望する女性とそのパートナーに対する助成の金額でございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

理解できました。ありがとうございました。

関連してですね、その下にごん検診費がありますけど、今回、コロナの影響で、がんの集団検診、延期されたか中止されたか、まだ私もあれなんですけど、予定としてはどうなっているんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

がん検診に関しましては、女性がん検診については、人があまり密にならないということで、集団検診も7月、8月にかけて実施をさせていただきましたが、そのほかの胃がん、大腸がん、胸部検診などは人が多く密になりますので本年度は集団検診をやめまして、個別検診をご案内させていただきます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

そうすると、今年中止、来年以降はまだ考えられてない。

それは結構なんですけど、検診のときもそうなんですけど、私も毎年行くんですけど、予約するとき物すごい人です。並んどるんですね。春日老人福祉センター、すごい人なんですけど、こういうことももしやられるのであれば、来年以降、対策を考えて、ぜひともお願いしたい。

要望だけにしておきます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかにはないですか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、次のページへ行きます。

最後になりますけど、70、71ページ、いかがでしょうか。

岸本委員。

岸本 洋美委員

71ページの上段のほうに母子保健、また妊婦・乳児健診様々あるんですけども、全部統括してでもいいんですが、二、三お尋ねさせてください。

主要施策の170ページに母子健康教育費、母子保健費ということで、パパママ教室、それから健診事後教室様々あるんですが、これの現状とといいますか、パパママ教室も11回やって242人ということですけども、パパ・ママ必ず御夫婦でみえるのか、そのあたりの現状をお聞かせください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

パパママ教室に関しましては、御夫婦で参加される方も年々増加してきております。回数に関しましては、年間12回を予定しておりましたが、コロナの影響で1回開催を中止しております。現在は6月以降はパパママ教室を開催しておりますが、密にならないように予約制で人数制限をしてやらせていただいております。それで、参加できない方に関しましては、窓口などに御夫婦でお越しただいていろいろな体験などもしていただくという形でやっております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

それと、その下の3番、1歳6か月と3歳児、こうした健診ということでございますが、ここではどういったことを具体的に。ここには書いてありますが、御説明ください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

私どもが開催させていただいている子どもの健診、1歳6か月児健診、3歳児健診、そのほか歯科の2歳児相談、2歳6か月相談なども含めて子どものことをお母さんも含めていろいろお話を聞かせていただいて、支援が必要だと思われるお子様に親子で来ていただいて、遊びですとか、お母さん同士のグループワークなどもさせていただきながら、保育士や臨床心理士などとも御相談いただける体制をつくって、お母さんが安心して子育てができるような教室を開催しております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

事細かくありがとうございます。

以前申し上げたかと思うんですが、図書館の司書の方がブックスタートとといいますか、本が大事よ、読み聞かせは大事よと、こういったこともやっておられますか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

先ほどの健診事後教室ではやってはいないんですけども、4か月児健診においては、図書館が開館した平成26年度から、司書の方にお越しいただいて本の紹介などをさせていただいておりましたが、コロナになりまして、健診の中でいつもですとお母さんが輪になって、集団になって、保育士の話ですとか図書館の司書の方のお話をさせていただくことにしていたんですけども、集団になることが危ないということで、今現在は図書館の司書の方にはお越しいただいてはおりません。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

今現在はコロナ禍なのでということですけど、他の自治体ではこうした検診時においてブックスタートという、要するに、本の読み聞かせ、本は親子で読むのが大事ということの説明はもちろんですけど、本のプレゼント事業をやっている。当然御存じだと思うんですけど、愛知県でも約半分以上の自治体が、3分の2といっても過言ではないんですが、合併前には旧清洲町がブックスタート事業を健診時に1回2冊の本をプレゼントするという事業があったんですが、こういったことに関してはどう思われますか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

合併前に清洲町でこのブックスタートをやっていたことは私も存じております。このブックスタートに関しましては、私ども健康推進課だけではなく図書館を管轄している生涯学習課のほう

とも話し合いをしております、今できることとしては、図書館の司書の方はみえないんですけれども、その月齢に合った本の御紹介を図書館のほうからパンフレットとしていただいて、配付を継続していくということで実践していきたいと思っております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

これまでということですが、本を差し上げて手元に本があるという御所見だけ、河口部長、このブックスタートいかがですか、本のプレゼントということで。

福祉委員会委員長（白井 章君）

河口部長。

健康福祉部長（河口 直彦君）

ブックスタートの制度の趣旨自体は誠にいいものだというふうに理解しております。子どもの頃から本に親しむというための制度でございます。清須市におきましては図書館がございまして、今、図書館のPRも兼ね、図書館司書が健診に出向いてきていただいてやっただいていっているというふうになっております。その制度自体が本のプレゼントをするのがいいのかということになりますけれども、そのところには財源もついて回りますので、限られた財源を大切にしていきたいということで、本のプレゼントがいいのかどうかということも含めて議論のほうはしていきたいというふうに考えております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

この件、検討していただきたい。というのは、実施しているところは、保護者の方、お母さん方、お父さん、喜ばれているということも出ておりますので、これはこれで終わります。

もう1点だけいいですか。

妊婦の関係でございますが、167ページに妊婦等健診ということでございます。様々、国の補助もありまして、妊産婦、清須市は出生率も2番目ということもありますが、情報によりますと、国のほうが妊産婦にもPCR検査をします。今、県のほうでそうした準備をしているような

ことも聞くんですが、何か情報はありますか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

愛知県のほうに確認をさせていただいておりますが、現在調整中ということで、いつめどが立つのかということもはっきりとお返事はなく、決まり次第、市町村に案内をしていただけるということで、その日程などについてはまだ聞いてはおりません。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

結構です。もし、それが決まりましたら周知のほうをしっかりとよろしくお願いします。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかにはありませんね。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、審議を終わりますので、採決をしたいと思います。

認定第1号 令和元年度清須市一般会計決算認定所管分について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。全員賛成です。

よって、認定第1号 令和元年度清須市一般会計決算認定所管分については、原案のとおり認定すべきものと決しました。

次に、認定第3号 令和元年度清須市介護保険特別会計決算認定について、歳入歳出続けて説明をお願いします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

令和元年度清須市歳入歳出決算書の136、137ページをお願いいたします。

介護保険特別会計、歳入からお願いいたします。

1 款介護保険料、1 項介護保険料、1 目第1号被保険者保険料、予算現額10億2千13万1千円、収入済額10億2千970万4千710円、不納欠損額970万5千400円、収入未済額1千874万4千241円、現年度分と滞納繰越分でございます。

2 款使用料及び手数料、1 項手数料、1 目総務手数料、予算現額5万円、収入済額9万円でございます。

3 款国庫支出金、1 項国庫負担金、1 目介護給付費負担金、予算現額7億7千289万6千円、収入済額7億3千710万5千123円、現年度分と過年度分でございます。

2 項国庫補助金、1 目事業費補助金、予算現額156万6千円、収入済額99万1千円。

2 目調整交付金、予算現額1億2千729万円、収入済額1億2千405万8千円、現年度分でございます。

3 目地域支援事業交付金、予算現額5千703万8千円、収入済額5千25万3千561円、現年度分と過年度分でございます。

4 目保険者機能強化推進交付金、予算現額542万5千円、収入済額542万5千円。

4 款支払基金交付金、1 項支払基金交付金、1 目介護給付費交付金、予算現額12億758万3千円、収入済額11億4千775万1千円、現年度分と過年度分でございます。

はねていただきまして、138、139ページをお願いいたします。

5 款県支出金、1 項県負担金、1 目介護給付費負担金、予算現額6億3千763万2千円、収入済額6億893万8千円、現年度分と過年度分でございます。

2 項県補助金、1 目地域支援事業交付金、予算現額3千206万9千円、収入済額2千790万5千354円、現年度分と過年度分でございます。

6 款財産収入、1 項財産運用収入、1 目利子及び配当金、予算現額5万7千円、収入済額5万6千830円。

7 款繰入金、1 項他会計繰入金、1 目一般会計繰入金、予算現額7億383万4千円、収入済額7億383万4千円、1 節職員給与費等繰入金から4 節地域支援事業繰入金まででございます。

2 項基金繰入金、1 目介護給付費準備基金繰入金、予算現額9千513万2千円、収入済額9

千513万2千円。

8款繰越金、1項繰越金、1目繰越金、予算現額1億80万4千円、収入済額1億80万4千526円。

9款諸収入、1項延滞金、加算金及び過料、1目延滞金、予算現額1千円、収入済額11万3千円。

はねていただきまして、140、141ページをお願いいたします。

2項雑入、3目雑入、予算現額1千円、収入済額6万7千532円。

歳入の合計、予算現額47億6千151万1千円、収入済額46億3千222万9千636円、不納欠損額970万5千400円、収入未済額1千874万4千241円。

続いて、歳出をお願いいたします。

はねていただきまして、142、143ページをお願いいたします。

1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、予算現額6千875万7千円、支出済額6千356万1千822円、不用額519万5千178円、2節給料から19節負担金、補助及び交付金まででございます。

2項徴収費、1目賦課徴収費、予算現額371万6千円、支出済額283万7千797円、不用額87万8千203円、11節需用費から13節委託料まででございます。

3項介護認定審査会費、1目介護認定審査会費、予算現額755万2千円、支出済額651万6千802円、不用額103万5千198円、1節報酬から12節役務費まででございます。

2目認定調査等費、予算現額2千147万4千円、支出済額2千3万8千783円、不用額143万5千217円、11節需用費から13節委託料まででございます。

4項趣旨普及費、1目趣旨普及費、予算現額19万7千円、支出済額19万2千312円、不用額4千688円、はねていただきまして、144、145ページ、11節需用費でございます。

2款保険給付費、1項介護サービス等費、1目介護サービス等費、予算現額40億6千591万6千円、支出済額39億117万733円、不用額1億6千474万5千267円、19節負担金、補助及び交付金でございます。

2項その他諸費、1目審査支払手数料、予算現額240万4千円、支出済額229万6千207円、不用額10万7千793円、13節委託料でございます。

3項高額介護サービス費、1目高額介護サービス費、予算現額1億3千940万円、支出済額1億2千849万9千658円、不用額1千90万342円、19節負担金、補助及び交付金で

ございます。

4項特定入所者介護サービス費、1目特定入所者介護サービス費、予算現額1億3千236万2千円、支出済額1億2千689万2千734円、不用額546万9千266円、19節負担金、補助及び交付金でございます。

3款地域支援事業費、1項介護予防・生活支援サービス事業費、1目サービス事業費、予算現額1億574万1千円、支出済額7千614万1千672円、不用額2千959万9千328円、13節委託料と19節負担金、補助及び交付金でございます。

2目介護予防ケアマネジメント事業費、予算現額1千426万1千円、支出済額1千44万4千977円、不用額381万6千23円、9節旅費から19節負担金、補助及び交付金まででございます。

2項一般介護予防事業費、はねていただきまして、146、147ページをお願いいたします。1目一般介護予防事業費、予算現額2千170万2千円、支出済額1千748万7千281円、不用額421万4千719円、4節共済費から14節使用料及び賃借料まででございます。

3項包括的支援事業・任意事業費、1目包括的支援事業費、予算現額7千49万7千円、支出済額7千5万7千152円、不用額43万9千848円、8節報償費から19節負担金、補助及び交付金まででございます。

2目任意事業費、予算現額390万5千円、支出済額144万532円、不用額246万4千468円、8節報償費から19節負担金、補助及び交付金まででございます。

4項その他諸費、1目審査支払手数料、予算現額26万2千円、支出済額21万754円、不用額5万1千246円、13節委託料でございます。

4款基金積立金、1項基金積立金、はねていただきまして、148、149ページをお願いいたします。1目介護給付費準備基金積立金、予算現額4千737万1千円、支出済額4千737万830円、不用額170円、25節積立金でございます。

6款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、1目第1号被保険者保険料還付金、予算現額150万円、支出済額98万5千900円、不用額51万4千100円。

2目第1号被保険者還付加算金、予算現額1千円、支出済額1千円。

3目償還金、予算現額2千379万3千円、支出済額2千379万1千435円、不用額1千565円。

2項繰出金、1目一般会計繰出金、予算現額2千970万円、支出済額2千969万9千86

9円、不用額131円、28節繰出金でございます。

6款予備費、1項予備費、1目予備費、予算現額100万円、支出は0円、不用額100万円。

歳出合計、予算現額47億6千151万1千円、支出済額45億2千963万8千250円、不用額2億3千187万2千750円。

以上で、介護保険特別会計の決算書の報告となります。御審議のほどよろしくお願いたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。お疲れさまです。

それでは、質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

松川です。

保険給付費、介護サービス等費、介護サービス等費で不用額が1億6千万円、前年が5千万円ぐらいに対して3倍以上になっているんですけども、その理由をお願いします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

すみません、もう一度お願いします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

不用額1億6千400万円、144、145ページです。介護サービス、介護保険の中で最も主要な部分だと思うんですが、その部分で不用額が前年度に比べて3倍ぐらいになっているんですが。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

サービスの利用者が減ったということになります。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

前年度以外見てないんですが、結構、波が激しいもんなんですか。予想していたよりサービスの利用者が極端に少なかったり、極端に多かったりするようなもんなんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川です。

その年によって利用者の状況によって利用されるサービスというのは内容も違ってきますので、変動はあります。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかに。

野々部委員。

野々部 享委員

介護保険料のところでお聞きしたいんですけど、不納欠損額970万円、それから収入未済額が1千870万円、この金額はどのように考えてみえますでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

三輪課長。

収納課長（三輪 好邦君）

収納課、三輪でございます。

まず、不納欠損につきましては、対前年度でいきますと19.8ポイントの減少となりました。今年度の欠損につきましては29年度が主なものでございまして、介護保険だけではなく市税等にも滞納があるもので、生活状況を把握した上で最終的にやむなく不納欠損に至ったものでございます。

収入未済額、こちらにつきましては、前年を12.4%ほど減少させることができました。こ

ちらにつきましては、早期の納税折衝により少しでも減少するように努めているところでございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

少しずつ減少していっておるという答弁なんですけど、今後どのような方策を取られる予定でしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

三輪課長。

収納課長（三輪 好邦君）

収納課、三輪でございます。

市税等の徴収にもあたっておりますので、まずは市税優先で考えております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

ぜひ、少しでも改善されるように努力をよろしく願いいたします。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかにはありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、認定第3号 令和元年度清須市介護保険特別会計決算認定について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。全員賛成です。

よって、認定第3号 令和元年度清須市介護保険特別会計決算認定については、原案のとおり

認定すべきものと決しました。

12時に近づいておりますけど、あと2議案ですけども、午後から行うのか、委員の皆さん、どうでしょうか。

12時過ぎますけど、このまま審議したいと思いますので、当局の皆さん、御協力をお願いします。

それでは、次に、議案第59号 令和2年度清須市一般会計補正予算（第7号）案所管分について、歳入歳出続けて説明をお願いします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課、加藤でございます。

それでは、令和2年度一般会計・特別会計補正予算書及び説明書をお願いいたします。

一般会計補正予算（第7号）案、健康福祉部所管分につきまして一括で朗読説明をさせていただきます。

最初に、8ページ、9ページをお願いします。

一般会計補正予算、歳入になります。

15款国庫支出金、2項国庫補助金、2目民生費国庫補助金、補正額90万円の増、2節児童福祉費補助金の増で、母子家庭等対策総合支援事業費補助金でございます。

18款寄附金、1項寄附金、3目民生費寄附金、補正額20万円の増、1節社会福祉費寄附金と児童福祉費寄附金でございます。

続きまして、12、13ページをお願いいたします。

一般会計補正予算の歳出となります。

中段となります。

3項民生費、1項社会福祉費、5目社会福祉施設費、補正額1千672万5千円の増、12節委託料から17節備品購入費までになります。新川福祉センター費では、寄附金を活用させていただき備品を購入するとともに、春日老人福祉センター費では、施設の空調を整備するための工事請負費の増となります。

2項児童福祉費、2目母子福祉費、補正額120万円の増、19節扶助費で、母子家庭の自立に向けた給付金の増となります。

6 目子育て支援センター費、補正額 10 万円の増、17 節備品購入費で、寄附金を活用させていただき、子育て支援センターにおいて未就園児の多目的マットの備品購入をさせていただくものでございます。

令和 2 年度一般会計補正予算（第 7 号）案、健康福祉部所管分は以上でございます。御審議のほどよろしく願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いします。

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

富田でございます。

春日老人福祉センター整備費の件ですけど、これは 3 月の当初予算では 7 千 9 6 0 万円計上されておまして、設計費及び整備費ですね、それにプラス今回 1 千 6 6 2 万円、今回の補正の理由というのをまずお聞かせいただきたいと思います。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

当初、室外機を屋上に設置する予定でしたけれども、設計の段階で室外機の設置場所が屋上に設置が難しいということが分かりまして、地上に設置する方法となりました。

屋上に設置できない理由としては、安全性が担保できないということで設計の段階で分かりました。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

室外機を移動させるということですが、既存の空調機器ですね、この辺の撤去というのは当初予算に入っておったんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

室外機の設置場所と室外機を屋上に持っていく予定でしたので、現在あった空調機の使わない部分についても撤去せずにおこうと思っていたんですけども、撤去が必要になって、その撤去費のほうも含まれております。また、ほかに配管の費用だとか建具の改修だとか、もろもろの改修が必要になっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

私、3月のときの予算の審議のときも質問させていただいたんですけど、老人福祉センターには、以前、春日公民館のほうで問題があった六価クロムですね、あれがたしか存在しているということで、3月のときにも私、言ったんですけど、もし電気式に全部替えるのであれば絶対撤去してもらわんと困るというふうをお願いしたんですけど、そのあたりの撤去は当然含まれておるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

六価クロムの回収につきましては当初予算のほうにも含まれておりまして、今回も処理をしていく予定でございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

今の答弁で安心いたしました。

それと、これも3月のときにもお聞きしたんですけど、令和3年3月31日までに工期やっていただけるとのことですが、工期のほうは今回補正を出したことで延びるとか、そういうことはない。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

今年度中、令和3年3月31日までに改修のほうは終わる予定で計画しております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

現在はコロナの影響が貸出しとか行われていませんので、一般の客と住民の方は使われてないと思うんですけど、改修される間の空調関係、この辺はどういうふうになっとるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

空調につきましては、現在のガス式の空調も使える状態ですので、あの部分的に修理のほうをしていくということで、利用には影響がない状況でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

分かりました。ありがとうございました。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかにはありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

ないようですので、議案第59号 令和2年度清須市一般会計補正予算（第7号）案、所管分について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。全員賛成であります。

よって、議案第59号 令和2年度清須市一般会計補正予算（第7号）案所管分については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第61号 令和2年度清須市介護保険特別会計補正予算（第2号）案について、歳入歳出続けて説明をお願いいたします。

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

令和2年度介護保険特別会計補正予算案について朗読説明させていただきます。

令和2年度介護保険特別会計補正予算（第2号）に関する説明書の38、39ページをお願いいたします。

介護保険特別会計補正予算でございます。

歳入から御説明させていただきます。

3款国庫支出金、1項国庫負担金、1目介護給付費負担金、補正額227万円の増。

4款支払基金交付金、1項支払基金交付金、1目介護給付費交付金、補正額514万9千円の増額。

5款県支出金、1項県負担金、1目介護給付費負担金、補正額331万5千円の増。

いずれも前年度精査に伴う追加交付金でございます。

8款繰越金、1項繰越金、1目繰越金、補正額1億259万円の増、前年度繰越金でございます。

はねていただきまして、40、41ページをお願いいたします。

歳出になります。

4款基金積立金、1項基金積立金、1目介護給付費準備基金積立金、補正額7千68万3千円の増、24節積立金、精算に伴う介護給付費準備基金積立金でございます。

5款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、3目償還金、補正額486万6千円の増、22節償還金、利子及び割引料、前年度分の介護給付費及び地域支援事業費に対する国・県等の精算に伴う返還金でございます。

5款諸支出金、2項繰出金、1目一般会計繰出金、補正額3千777万5千円の増、27節繰出金、前年度分の介護給付費繰入金等の精算に伴う一般会計への返還金でございます。

以上でございます。御審議のほどよろしくをお願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは、審議に入ります。

質疑がある方、挙手をお願いします。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

これで質疑を終わります。

議案第61号 令和2年度清須市介護保険特別会計補正予算（第2号）案について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。全員賛成であります。

よって、議案第61号 令和2年度清須市介護保険特別会計補正予算（第2号）案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、福祉委員会に付託されました健康福祉部所管の全議案についての審議は終了いたしました。

これをもって福祉委員会を閉会いたします。

2日間御苦労さまでございました。ありがとうございました。

（ 時に午後 0時 5分 閉会 ）

清須市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和2年9月8日

福祉委員会委員長 白 井 章